

2020年3月期  
決算ダイジェスト

2020年5月14日



# 2020年3月期 決算ハイライト



## 【連結】 (百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	前期比	増減率
経常収益	9,022	<b>8,687</b>	335	3.7%
経常利益	777	<b>244</b>	533	68.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	259	<b>219</b>	40	15.5%

## 【単体】 (百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	前期比	増減率
経常収益	8,927	<b>8,598</b>	329	3.7%
コア業務純益	372	<b>217</b>	154	41.6%
経常利益	764	<b>240</b>	523	68.5%
当期純利益	247	<b>216</b>	30	12.4%

## 【自己資本比率(パーゼン)】

	2019年3月末	2019年9月末	2020年3月末	前期末比
連結自己資本比率	7.70%	7.85%	<b>7.63%</b>	0.07%
単体自己資本比率	7.70%	7.84%	<b>7.61%</b>	0.09%

## 【不良債権比率(金融再生法開示債権比率)】 (百万円)

	2019年3月末	2019年9月末	2020年3月末	前期末比
金融再生法開示債権額	12,012	11,458	<b>11,722</b>	290
不良債権比率	3.90%	3.78%	<b>3.82%</b>	0.08%

連結決算は、3期ぶりの減収・減益となりました。

- ・ 経常収益 8,687百万円 (前期比 335百万円)
- ・ 経常利益 244百万円 (前期比 533百万円)
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益 219百万円 (前期比 40百万円)

単体決算は、3期ぶりの減収・減益となりました。

- ・ 経常収益 8,598百万円 (前期比 329百万円)
- ・ コア業務純益 217百万円 (前期比 154百万円)
- ・ 経常利益 240百万円 (前期比 523百万円)
- ・ 当期純利益 216百万円 (前期比 30百万円)

・ 連結自己資本比率は 前期末比0.07%低下し7.63%となりました。

・ 不良債権比率(金融再生法開示債権比率)は前期末比0.08%低下の3.82%となりました。

# 2020年3月期 単体決算の概要



## (単体) 損益概況

【単体】	(百万円)		
	2019年3月期	2020年3月期	前期比
業務粗利益	6,218	5,822	395
(除く債券関係損益)	5,918	5,773	145
うち資金利益	5,917	5,821	95
うち役務取引等利益	274	334	+60
うち債券関係損益	299	49	250
経費( )	5,546	5,555	+9
実質業務純益( 1)	672	267	405
コア業務純益( 2)	372	217	154
一般貸倒引当金繰入額( )	-	-	-
業務純益	672	267	405
臨時損益	92	26	118
うち株式関係損益	46	130	83
うち不良債権処理費用( )	6	31	+24
うち貸倒引当金戻入益	629	187	441
経常利益	764	240	523
特別損益	387	18	+368
税引前当期純利益	377	222	155
法人税等( )	41	15	26
法人税等調整額( )	88	9	98
当期純利益	247	216	30
与信関連費用( ) ( 3)	622	156	+465

1. 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費
2. コア業務純益 = 業務粗利益 - 債券関係損益 - 経費
3. 与信関連費用 = 与信に関する費用のことで、主に債権の回収が不可能となった場合の「償却額」や債権が劣化したことで積み増す「貸倒引当金繰入額」を示す。  
与信先の業績回復に伴い、貸倒引当金の取崩を行う場合は「収益」として計上され、表示は戻入益を示す。

業務粗利益（前期比 395百万円）  
・資金利益および債券関係損益の減少により、前期比減少いたしました。

経費（前期比 +9百万円）  
・新勘定系システムの償却費用等が増加したものの、人件費等、他の経費の圧縮に努め、前年度同水準となりました。

コア業務純益（前期比 154百万円）  
・経費が前年度比同水準であったのに対し、資金利益等が減少したことにより、前期比減少いたしました。

与信関連費用（前期比 +465百万円）  
・引き続き貸倒引当金は戻入となったものの、戻入益は前年度を下回りました。

経常利益（前期比 523百万円）  
・与信費用の増加や、新型コロナウイルスの影響等による有価証券売却損益の減少により、前期比減少いたしました。

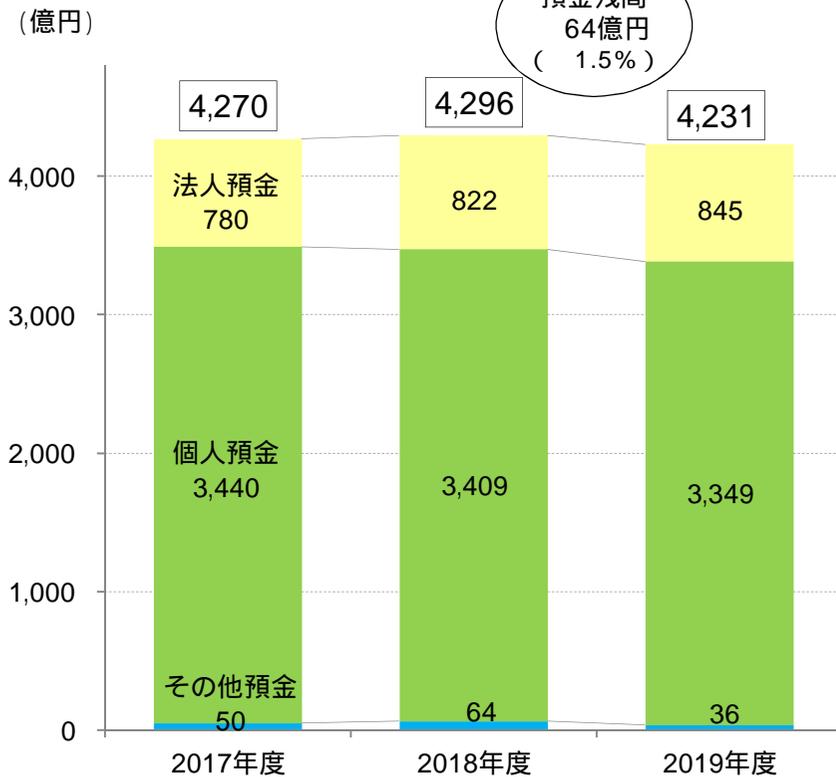
当期純利益（前期比 30百万円）  
・前期計上した新勘定系システム構築に係る費用の反動があるものの、経常利益の減少により、前期比減少いたしました。

# 預金・預かり資産

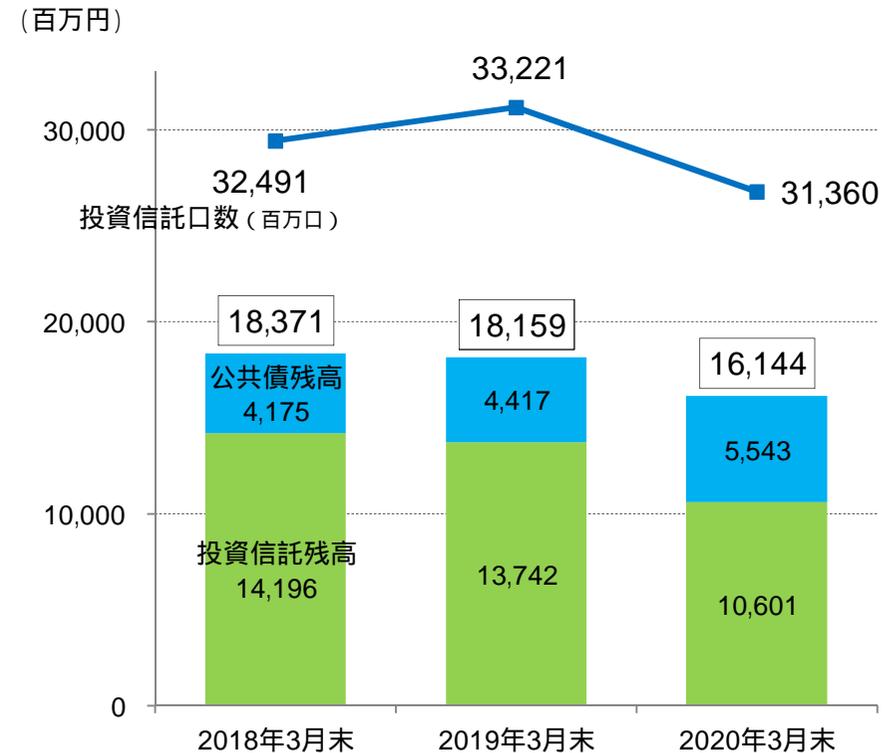


- ・預金平残は、個人預金等が減少したことにより、前期比64億円減少し、4,231億円となりました。
- ・預かり資産残高は、株式市場等の下落の影響等により、残高(時価)および口数ともに減少いたしました。

## 預金平残推移



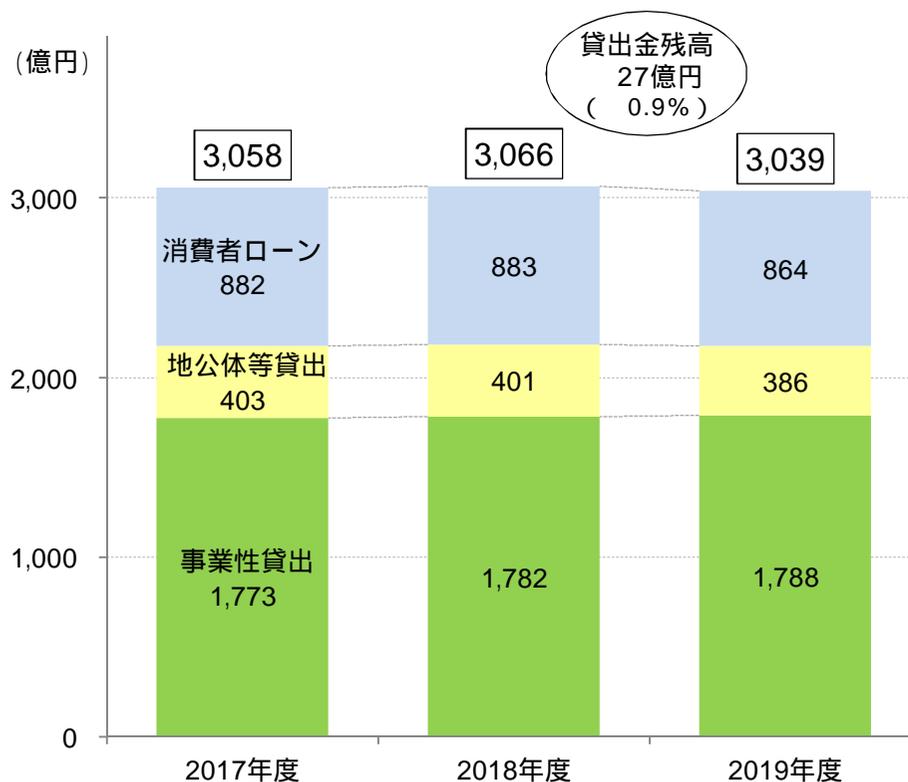
## 預かり資産残高推移



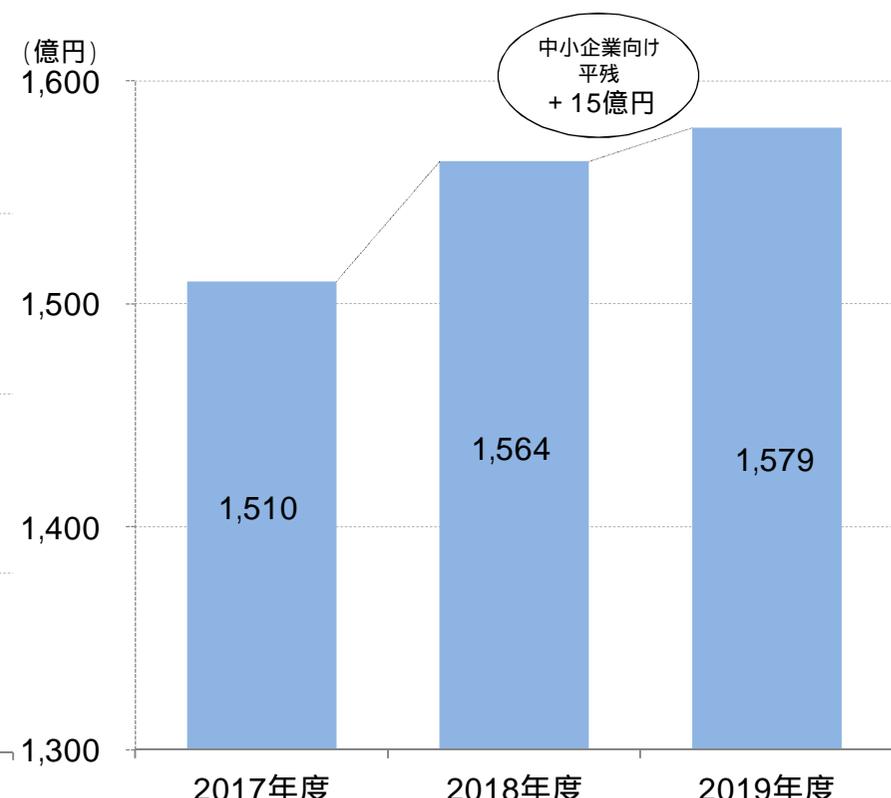
# 貸出金

- ・貸出金平残は、消費者ローン等が減少したことにより、全体で前期比27億円減少し、3,039億円となりました。
- ・中小企業向け貸出平残は、前期比15億円増加し、1,579億円となりました。

## 貸出金平残推移



## 中小企業向け貸出平残推移



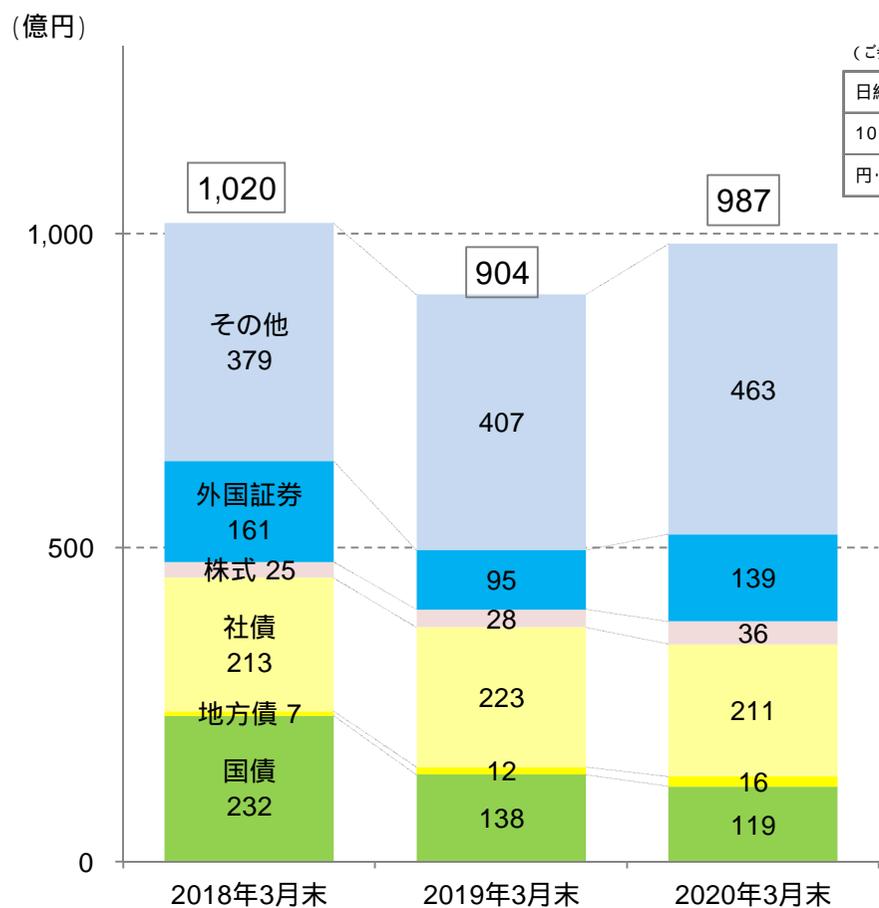
(ご参考)

企業先数 (件)	2017年度	2018年度	2019年度
(前期比)	4,521 (+199)	4,659 (+138)	4,724 (+65)

# 有価証券

・有価証券評価損益は、株価下落等の影響により、前期末比18億57百万円減少の24百万円となりました。

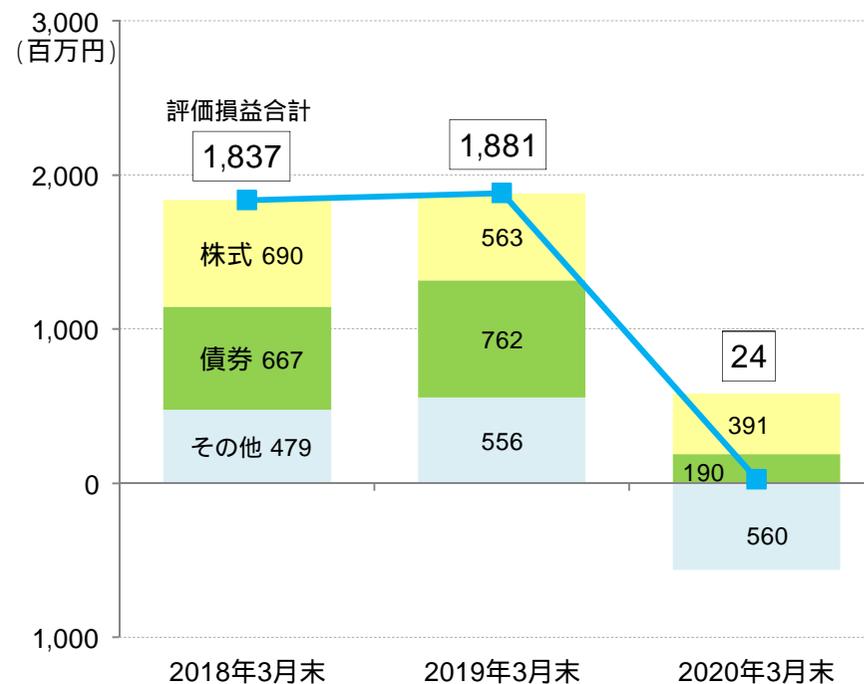
## 有価証券残高推移



## 有価証券評価損益推移

(ご参考)

日経平均株価(円)	21,454	21,205	18,917
10年債国債利回(%)	0.05	0.10	0.01
円・ドル(円)	106.2	110.7	108.4

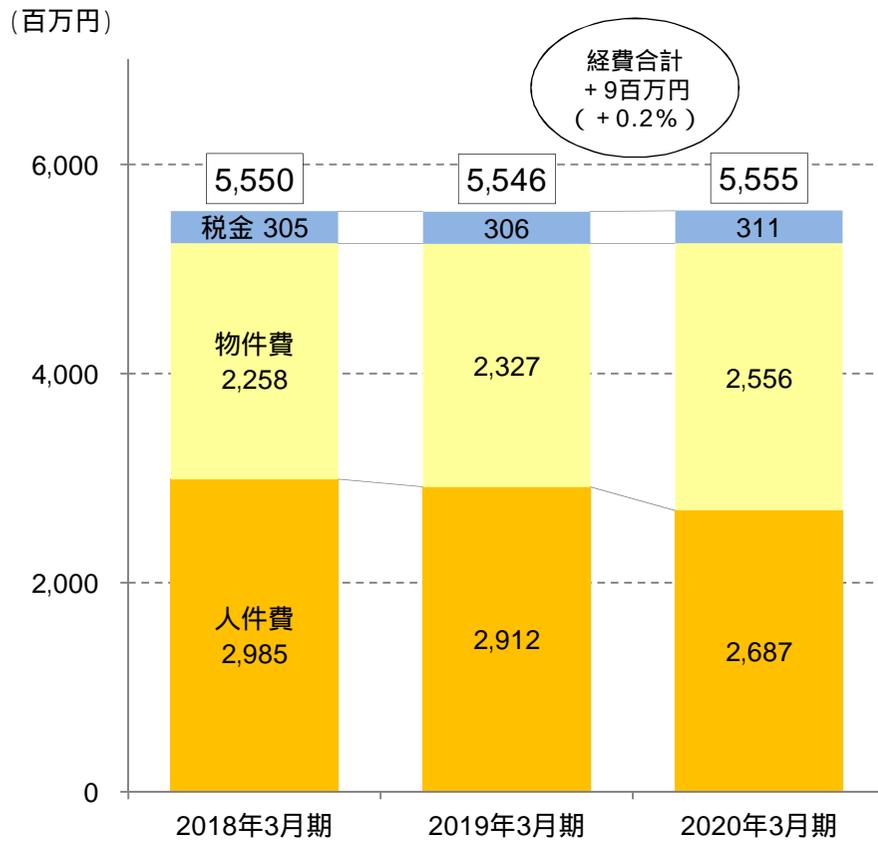


# 経費 / 不良債権の状況

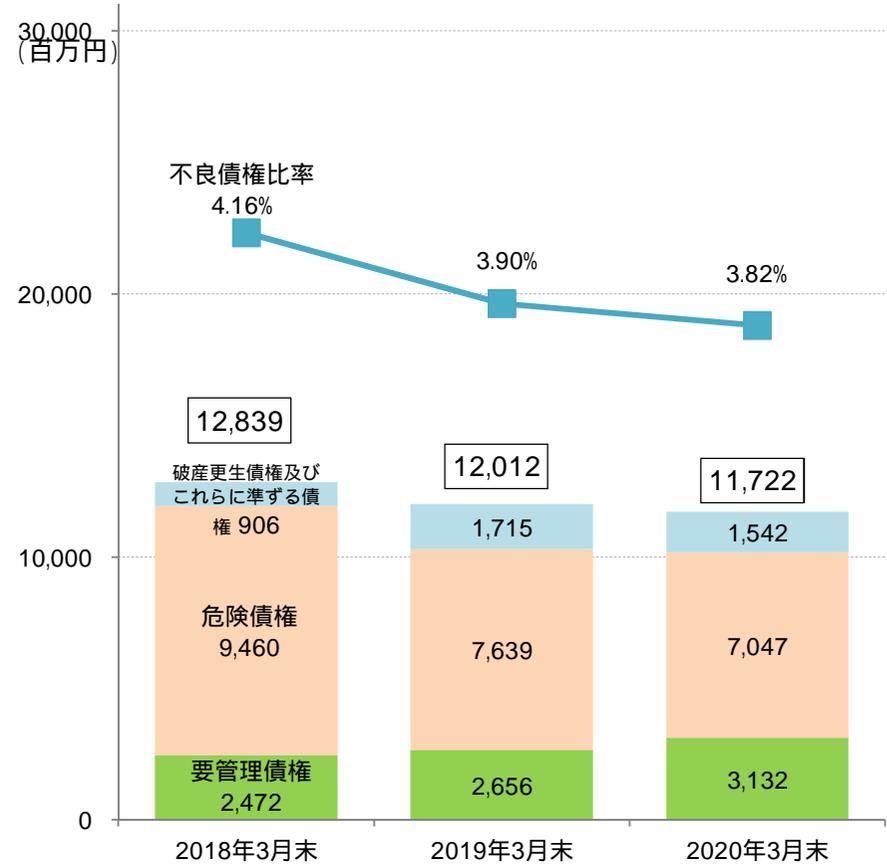
経費は、人件費が減少したものの、物件費および税金が増加し前期比9百万円増加の55億55百万円となりました。

不良債権比率は、危険債権等の減少により金融再生法開示債権残高が減少し、前期末比0.08%改善の3.82%となりました。

## 経費の推移



## 金融再生法開示債権の推移



# 2021年3月期 業績予想



## 【連結予想】

(通期) (百万円)

	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	増減率
経常利益	244	310	+66	+27.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	219	270	+51	+23.3%

(中間期) (百万円)

	2020年3月期 中間期	2021年3月期 中間期	前年同期比	増減率
経常利益	635	420	215	33.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	611	360	251	41.1%

## 【単体予想】

(通期) (百万円)

	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	増減率
経常利益	240	310	+70	+29.2%
当期純利益	216	270	+54	+25.0%

(中間期) (百万円)

	2020年3月期 中間期	2021年3月期 中間期	前年同期比	増減率
経常利益	638	420	218	34.2%
中間純利益	614	360	254	41.4%

### 連結経常利益

・新勘定系システムの償却負担が逡減し、経費が減少する見通しから、2020年3月期比増益を見込んでおります。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

・連結経常利益の増加により、2020年3月期増益を見込んでおります。

(注) 当該業績予想につきましては、本資料発表日現在において、入手可能な情報を前提としており、今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期間にわたり継続する場合には、与信関係費用の更なる増加等、当行の業績予想が変更となる可能性があります。

### 【1株当たり予想配当金】

#### 1株当たり予想配当金

・1株当たり3円を期末配当として予定しております。

	年間	うち期末
配当予想	3円00銭	3円00銭